

実践編



奈良県内の特別支援学級担任の取組をヒントに指導例を実践編としてまとめました。
 子どもの実態把握をもとにして、子どもにどう生かせるかを考えて、実践を作り上げて
 ください。

表記について

障害種別	単元・題材名
教育課程上の位置付け	指導の形態：教科の目標や内容を取り入れた教科等名
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実態</div> その教科における対象児の実態	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標</div> 教科や単元における対象児の目標
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実践</div> 1時間の流れ、もしくは指導内容を記述 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 授業の具体的な工夫点や配慮点、指導するときのポイントを記述 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">担任の願い</div> 担任として、単元を計画した意図や指導するときの配慮、本人・保護者と共有する目指す将来像などを記述	


知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科の場合
 例…（特）国語

生徒に対して小学校の教科の内容や目標を取り扱う場合
 例…（小）国語

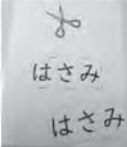
知的障害特別支援学校における国語と算数の指導

国語


- ・絵本の読み聞かせを聞く
再現遊びをする
- ・身近なものの名称を知る（聞いて分かる）
- ・単語のマッチング（見て合やす）
- ・一文字ずつのマッチング
- ・音と文字のマッチング（聞いて選ぶ）
- ・音と文字とものを結び付ける




子どもの名前
子どもが好きな人や物、キャラクターの名前等、
興味・関心のある教材を工夫する




はさみ
はさみ



しか
しか



うどん
くるま




はさみを とってきて


「文字」と「音」、「イメージ」が
一致するように

算数


- ・ものとものを対応させる
ものとものを対応させて配る
分割した絵カードを組み合わせる
関連の深い絵カードを組み合わせる
- ・具体物を数える
シート状か、外枠があるか
など工夫する
- ・もの、形、色などの分類をする
具体物同士、絵カード同士、絵カードと具体物
- ・大小、長短、高低などの違いが
分かり、比べる




お盆に牛乳を一つずつ配る
授業で学習したことを日常
生活に結び付ける




何かな？カード




写真の上に具体物を乗せる




決められた数のビー玉をかごに入れる



具体物で大小を比べる




具体物同士を分類する



絵カード同士を分類する

知的障害 小学校

通常の学級の間を活用したSST（ソーシャルスキルトレーニング）

<p>特別活動、自立活動</p> <p>実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に自分の気持ちを素直に伝えたり、友達の気持ちを受け止めたりすることが難しい 	<p>特別活動、自立活動</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを伝えることができる ・友達の気持ちを受け止めることができる
<p>実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校放送により、適切なコミュニケーションのとり方を目指したロールプレイを視聴する （あいさつ・上手な聴き方・あたたかいメッセージ・上手な断り方 など） ・交流及び共同学習として通常の学級の教室で、各学年の発達段階に適したロールプレイモデルを用いて練習する ・学習カードに、その日に学んだことを記入する ・特別支援学級で振り返りを行い、定着を図る <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: x-small;">学習カードや掲示物を共有する</p>  </div>	
<p>担任の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じタイミングで全児童に指導を行うことで、全教職員が一貫した対応をすることができ、児童が混乱しないで適切なコミュニケーションのとり方を学ぶことができる ・児童が学習場面で学んだソーシャルスキルを日常生活でも活用できるようにする 	

17